

川崎市社会福祉協議会 障害者団体部会の紹介



令和5年度障害者週間 街頭キャンペーン

川崎市内で活動している
障害者団体を紹介しています♪
開いて読んでみてね♪

■川崎市肢体不自由児者の会連合会

いろいろな原因で障害が生じ、不自由を負った子どもたちの療育、教育、進路等を取り巻く環境の向上を図ることを目的に昭和39年6月に設立し、安心して地域で明るく生活ができる共生社会を作るため、各区でレクリエーションを中心に様々な活動をしている団体です。

【主な事業】

市、県への要望書提出と懇談会・レクリエーション事業(バス旅行・クリスマス)・各種大会参加・研修会(GH・諸福祉制度等)・会報の発行・肢体不自由児者の愛護思想普及・啓発等

■NPO法人 川崎市中途失聴・難聴者協会

当協会は、人生の途中で突然聞こえなくなった人や、聞こえが悪くなった人達との交流と福祉向上のために活動しています。高齢社会の中、ストレスや薬害等で難聴者が増えています。難聴になってしまっても、一人で悩まず、ご連絡ください。聞こえが悪くても話しが通ずる方法があり、仲間がいます。

毎月機関誌「川難聴だより」の発行と例会、手話・読話の勉強会、手話ダンス等の同好会。3月は「耳の日の集い」や福祉機器展、聴覚障害者に役立つ講演や補聴器等の相談も行っています。

■かわさき七和会

脳梗塞や、脳出血の後遺症で中途で障害者になった当事者と家族・ボランティアの集まりです。中原区、多摩区、麻生区で活動しています。(以前は全区にありましたが、コロナ等で実際に活動しているのは3区になりました)

3つの支部があります。旅行、リハビリ教室、絵手紙、折り紙、書道、コーラス、ゲートゴルフ、ハーモニカ、ハンドベル、手芸、昼食会など、また要望にあわせて、講演会も開催しています。交流を通して互いに励ましあい、生き生きとした生活を送るように活動しています。

■NPO法人 川崎地域腎臓病連絡協議会

腎臓病に関する各種啓発事業～(A)講演会、(B)臓器移植意思表示カードの配布(JR各駅前 川崎市民祭り)、(C)災害対策連絡網の整備、(D)川腎協ミニコミ紙の発行(E)その他、腎臓病・障害者の医療の質・福祉の向上に対する運動を進める等の事業を実施しています。(会員数約300名)

■NPO法人 川崎市ろう者協会

「ひとりぼっちのろう者をなくそう！」を合言葉に、市内在住の聴覚障害者の福祉増進と文化の向上を目的に、以下の活動を行っています。

- ろう者のつどいの開催(年1回)：式典・著名な方をお招きしての記念講演
- 会員同士の親睦交流企画：研修旅行、新春のつどい、納涼会等
- 川崎市からの委託事業、生涯学習講座：年6回、聴覚障害者の文化・教養の向上に役立つ内容や一般市民に聞こえないことの理解を広めるための講演
- 一般の方々への啓蒙活動：手話通訳者養成の講習会を企画・開催、聴覚障害者福祉講座の開催協力等

■川崎市認知症ネットワーク

「たとえ認知症になっても、介護する日々でも、一人の人間として、社会の一員として、社会の中で堂々と暮らしていこう！」をモットーに、市内の認知症家族会、隣人として地域でサポートしている市民グループがネットワークを組み、認知症に関する支援・啓発・要望活動、研修、交流、情報交換をしています。

市内では、認知症介護相談「サポートほっと」、若年グループ「どんどん」、「劇団SOS」による啓発寸劇上演、介護いきいきフェア主催等の活動を展開しています。

■一般社団法人 川崎市自閉症協会

【事業方針】 当会は、自閉症及び周辺の障害(以下「自閉症スペクトラム障害：ASD」とする)を含む発達障害当事者及び家族・関係者に対する支援を行っています。また、ASD含む発達障害について、一般市民に向けての啓発活動を行っています。

【活動内容】 ASD含む発達障害に関する講演会、勉強会の開催。ペアレントメンター事業。作品展・自閉症啓発イベント開催。会員の交流会、バスハイク、リトミック、体操教室の実施。広報誌発行。

<http://kusabue.la.coocan.jp/>



『障害者週間』(12月3日～9日)は、国民の間に広く障害者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されています。

川崎市社会福祉協議会 障害者団体部会では、『障害』についての理解を助け、ともに生きる福祉のまちづくりを推進することを目的にキャンペーン活動を実施しています。

■川崎市育成会手をむすぶ親の会

川崎市在住の知的障害(児)者とその家族のための福祉増進と、安心して地域で暮らせる共生社会の実現を目指して活動しています。また、全国手をつなぐ育成会連合会正会員として、全国の仲間とともに厚生労働省や文部科学省に意見・要望を伝えています。

【実施事業】

①知的障害(児)者に対する施策の充実を求める活動②広報・啓発活動③なんでも相談④海水訓練・緑陰訓練やバスハイク⑤権利擁護活動⑥知的障害疑似体験啓発キャラバン隊活動⑦会員相互の情報交換や研修⑧心身障害者「二十歳を祝う会」式典のサポート等

■NPO法人 あやめ会(川崎市精神保健福祉家族会連合会)

川崎市内の精神障害者を抱える家族会(市内に7単会があります)の連合会で、会員間での話し合い・情報の収集・勉強会等を行う団体です。特に当事者に対する偏見と差別を解消するよう神奈川県(じんかれん)・全国(みんなねつと)の上部団体とも連携し活動をしています。

グループホーム・ひきこもり対策の地活(窓の会)・電話による心の相談事業等の運営も行っております。

■川崎市オストミー協会

川崎市オストミー協会は、現在会員数約70名で、人工肛門・人工膀胱の保有者(オストメイト)で構成されており、人工肛門・人工膀胱に関する正しい知識の啓蒙及びオストメイトの社会復帰と福祉の向上を目指して活動しています。

主な事業は、神奈川県の委託として又、川崎市の後援で「オストメイト健康教室」を年3回実施、市内のオストメイトへは、市の広報紙に開催案内を掲載しています。その他、当協会独自の講習会・研修会を年3回開催、日帰り旅行を年1回開催しています。支部会報を年5回、本部会報を年6回発行しています。

■全国心臓病の子どもを守る会川崎支部

○心臓病の子どもたちとその家族の日常生活・教育・精神面でのサポートをするために、会報「心臓をまもる」を月1回発行しています。

○病児の自立性と社会性を養うために家族交流のためクリスマス会や納涼会等を行っています。

○国や各省庁、神奈川県、川崎市と懇談、交渉等の活動をしています。

○今後も心臓病児者への理解と医療、福祉の充実を呼びかけていきます。

■(公財)川崎市身体障害者協会

川崎市内の身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を実施すると共に、身体障害者の自立更生と福祉の向上を目的に、身体障害者団体に対する組織活動の推進事業、身体障害者の福祉事業の推進、地方公共団体からの受託事業の実施、身体障害者スポーツ及び文化活動の促進に関する事業等を行っています。

■NPO法人 視覚障害者福祉協会

視覚障害者の自立と社会参加を目的に、視覚障害者の生活安定と向上、そして友情と親睦を深め、自信をもって社会に出るための知識習得や生活訓練等のために、「視覚障害者歩行訓練」、「視覚障害者相互激励大会」、日常生活訓練(茶道・華道・料理・太極拳・手芸)、教養講座等を実施しています。

■全国脊髄損傷者連合会 神奈川県支部川崎協会

車いす生活を余儀なくされた私達が様々なサポートを行い、医療や福祉制度の改善と充実を図ることを目的に活動しています。

また、相談支援として病院や自宅に何うピアサポート(医療・福祉関連情報の提供、相談に応じてのアドバイス等の協力)、福祉教室(障害や車いすの説明)を通じて地域交流事業も実施しています。

神奈川県では、平成28年7月に発生した障害者支援施設・県立津久井やまゆり園での事件から、このようなことが二度と繰り返されないよう、ともに生きる社会の実現を目指し、同年10月に「ともに生きる社会かながわ憲章」が定められました。

ともに生きる社会かながわ憲章

～この悲しみをカに、
ともに生きる社会を実現します～

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

本キャンペーン及び各団体
に関するお問合せ先

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 福祉部 ボランティア活動振興センター
住所: 〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター6階
TEL:044(739)8720 FAX:044(739)8739 メール:jyoho@csw-kawasaki.or.jp